

意見書案第5号

陸上イージスの配備中止を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を
求める。

令和元年6月28日提出

提出者	中間市議会議員	田口澄雄
賛成者	〃	柴田芳信
〃	〃	田中多輝子

陸上イージスの配備中止を求める意見書

防衛省は、5月27日から28日にかけて、秋田県秋田市の新屋(あらや)演習場及び山口県萩市のむつみ演習場への陸上配備型ミサイル迎撃システムの配備について、「適地」であるとの通告をいたしました。

もともとこの「イージス・アショア」は、イージス艦に搭載される迎撃ミサイル機能を地上に固定し、大気圏外を飛行する弾道ミサイルを破壊するシステムで、我が国における本格的なミサイル基地の構築でもあります。

北朝鮮のミサイルによる攻撃の危険性がその配備理由でした。しかし、今、アメリカと北朝鮮の間には、朝鮮半島の非核化と平和体制構築に向けた動きが起こっており、そのような情勢下で、こうした戦争への備えを口実とした、軍事力の強化を我が国が進めることはやめるべきだと思います。

配備計画の対象である秋田県新屋演習場は、1キロメートル圏内に秋田商業高校、勝平小学校があり、3キロメートル以内には、県庁、市役所、市立総合病院などの施設があります。このことは自衛隊の他のレーダー網や他国の配備状況から言っても異常な事態です。

また、そうした場所には、電磁波による人体への影響の問題もありますし、何よりも戦争開始時の第一撃攻撃目標となる危険性もあります。

この「イージス・アショア」の金額も、当初800億円の2基とされていたものが、いつの間にか1340億円の2基と変更され、維持運用まで含めると産経新聞の発表でも、6000億円以上かかるといわれています。

現地では、最初の攻撃の対象地域となることや地域発展の阻害要因となることから、猛烈な反対運動が起こっています。

アメリカのトランプ大統領に言われるままにこうした危険極まりない兵器を、購入することはやめるべきです。また、こうした予算を生活や福祉にまわせば、例えば保険証がないばかりに病院の受診ができず、手遅れとなり亡くなられるような事態は、防げると思います。人命を尊ぶならばまずそれをすべきです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和元年6月28日

中間市議会

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 伊達 忠一 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
防衛大臣 岩屋 毅 様